



かさま

No.476

横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

校長 黒田 由希子

一步一步着実に

謹んで新春のお慶びを申し上げます

年が明け令和3年「丑年」になりました。「丑牛」のいわれを調べてみると、「牛は稲作を始めとする農作業の大切な労働力として、古来より人とともに暮らしてきた。勤勉によく働く姿が『誠実』を表し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられた。」とありました。また「丑」という漢字は「紐」の「丑」の部分で、「結ぶ」や「つかむ」などの意味が込められているとも考えられています。「丑年」は、**先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年**だそうです。本校でも、一つ一つの事柄にしっかり向き合い、じっくり吟味しながら、着実に歩を進めていきたいと考えています。



昨年は、新型コロナウイルスによる感染症の拡大により、学校だけでなく、日本や世界全体が未だかつて経験したことのない状況に追い込まれ、苦しい思いで過ごした一年でした。年が明け状況がよくなることを期待していましたが、まだまだ厳しい状態は続いており、神奈川県では8日に緊急事態宣言が発出される事態となりました。それを受け、本校でも1月15日に開催予定の授業参観（オープンスクール）については、2月下旬以降に延期といたしました。3学期を迎え、「まとめ」となる行事がたくさんあります。また、子どもたちが今まで目標としてきた行事もあります。学校行事は、よりよい人間関係を築き、学級生活の充実を図るための大切な教育活動の一つですので、時期や方法を工夫しながらできるだけ実施していくように努めていきますが、今後の状況によっては、予めお知らせしていたことが変更になったり、厳しい判断をせざるを得ないこともあったりするかと思います。ご理解いただけますと幸いです。



1月4日付の朝日新聞「天声人語」に「シトラスリボン運動」についての記述がありました。黄緑色のリボンを身に付け、コロナに対する中傷や偏見、差別をなくそうと訴える活動だそうです。このリボンの三つの輪は「学校・職場」「家庭」「地域」を表しています。このような状況下であれば、誰が、いつ新型コロナウイルスに感染したとしてもおかしくありません。このリボンには感染したことが中傷や差別、偏見につながらないように、誰もが笑顔で暮らせる社会になるようにという願いが込められています。その一つの輪である学校におきましても、誰もが安心して過ごせる場に、思いやりをもって温かい気持ちで友達に接することができる場になるように、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めていきたいと考えています。今年も笠間小学校の教育にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。